

2022年度業務実績報告書

提出日 2023年1月19日

1. 職名・氏名 教授・吉浦康寿

2. 学位 博士、専門分野 魚類生理学、授与機関 東京大学、授与年 1997

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 生物学II（分担5コマ）、フィールド演習（学科教員全員分担）
②内容・ねらい 今後の専門教育に必要な生物学の基礎を習得する
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 パワーポイントによるイラストを多く取り入れた分かりやすい授業を行うとともに、要点をまとめた配布手元資料を配った
(2)その他の教育活動
内容

#### 4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	
	【 本】
②学術論文（査読あり）	
1. Enrichment of spermatogonia by density gradient centrifugation for use as a donor of surrogate production of tiger puffer Hiroyuki Yoshikawa, Yasuko Ino, Atsushi Shigematsu, <u>Yasutoshi Yoshiura</u> AQUACULTURE RESEARCH 53(11) 4032-4044 2022 年 8 月	
	【1 本】
③その他論文（査読なし）	
	【 本】
④学会発表等	
※1. 新しい品種改良技術によるトラフグ優良品種作出の取り組み <u>吉浦康寿</u> 第 22 回大会マリンバイオテクノロジー学会 シンポジウム トラフグ養殖研究の最前線 ～次世代のトラフグ生産を科学する～ 下関市・日本水産大学校 オンライン開催 令和 4 年（2022 年）5 月 28 日	
2. TILLING とゲノム編集で作製したミオスタチン変異トラフグは同様の形質を示す 黒柳美和・成田篤史・二川伸彦・今井 正・亀井保博・ <u>吉浦康寿</u> 令和 4 年度日本水産学会秋季大会 フェニックス・シーガイア・リゾート（シーガイア コンベンションセンター）令和 4 年（2022 年）9 月 6 日	
3. 遺伝子破壊による生殖細胞欠損が宿主の作出 吉川廣幸・井野靖子・岸本謙太・木下政人・ <u>吉浦康寿</u> 令和 4 年度日本水産学会秋季大会 フェニックス・シーガイア・リゾート（シーガイア コンベンションセンター）令和 4 年（2022 年）9 月 6 日	
	【3 件】
⑤その他の公表実績	
	【 本】

(2) 科研費等の競争的資金獲得実績

【学外】

多重反射による空中ディスプレイの薄型化と水中 CAVE への応用～魚に映像を見せる～  
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(S) 2020 年 8 月 - 2025 年 3 月  
山本裕紹、吉浦康寿、大谷幸利、八杉公基、陶山史朗、伊藤篤、石川智治

生殖細胞欠損魚への生殖腺内生殖細胞移植を介した早期配偶子生産法の開発  
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B) 2021 年 4 月 - 2024 年 3 月  
吉川廣幸、木下政人、吉浦康寿

「イノベーション創出強化研究推進事業」【開発研究ステージ】

令和 4 年度～令和 8 年度 (5 年間)  
研究統括 細谷将 (東京大学)、参画機関 長崎水試、福井県立大学、マルハニチロ

リージョナルフィッシュ株式会社との共同研究「養殖魚の不妊化」  
令和 4 年 8 月～令和 6 年 9 月

2022 年度 基礎生物学研究所 個別共同利用研究  
「受精を標的とした魚類の不妊化技術に関する基礎的研究」  
2022 年 10 月～2023 年 3 月

【学内】

なし

(3) 特許等取得

(4) 学会活動等

5. 地域・社会貢献活動

--

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
(3)学内行事への参加
オープンキャンパスの運営、丸岡高校の小浜キャンパスツアーにおける講演、ランチタイムセミナーの講演、福井県立大学公開講座の講演
(4)その他、自発的活動など